

こぶしの風



こぶし会
ロゴマーク

第50号

(題字: ヘルパーステーション小川 昼神正彦さん)

発行: 令和6年11月20日 発行: 社会福祉法人信濃こぶし会 編集: 広報誌こぶしの風編集委員会

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村神稲4026番地1 電話 (0265) 35-8511 FAX (0265) 35-9016 E-mail: kobushi@dia.janis.or.jp URL http://kobushikai.or.jp/

今年も柿取り・マキ配達のシーズン到来

第二こぶし園



柿取り



マキ配達



目次

理事長あいさつ.....	2P
ぼっぼあーと展・人事異動.....	2P
待ちに待った旅行 楽しかったで~す...	3P
法人研修.....	4P
職員の動き・編集後記.....	4P

作者 / パドルタッククラブ



作品 / みんなで作った
「ハロウィン」

==== 安心して暮らせる地域をつくるために ====



「基本理念のもと 心をひとつに」

理事長 高本隆光

今年のプロ野球は、読売巨人軍が4年ぶり39度目のセ・リーグ制覇を決めました。優勝インタビューの中で「今年の戦いで一番良かったところは」と問われ、阿部慎之助監督は次のように答えています。「全員同じ方向を向いて、キャンプから誰ひとりそっぽ向かなかったところ。それだと思います。」

企業や法人にとっても「同じ方向を向く」「ベクトルを合わせる」ことの重要性はよくよく理解するものの、現実的には簡単なことではないことも事実です。当法人内にも、信濃こぶし会の存在意義、即ちあるべき姿を示す「基本理念」を基に、それを具体化する「倫理綱領」があり「職員行動規範」の方針を示しています。しかし、利用者を想う理念は同じくも、支援に対する方法・手法について職員間の意見の違いから衝突もあり得ます。この真剣勝負（議論）の先にこそ、別の視点からの助け合い＝視点の広がりにも繋がるはず。最終的に、折り合いがつかない時こそ「法人理念に照らし合わせ、考えがより指針に沿っているか」を判断、話し合うことこそが、「同じ方向を向く」ことになると考えます。ここぞと言うときには、綱引きの掛け声の如く「せーの」で同じ方向に全力で綱を引っ張る、そんな組織集団でありたいと、こよなく愛するセ・リーグ優勝をしたジャイアンツの歓喜にあわせ思いを馳せた次第です。

10月1日付人事異動

◇異動

- ユアサポートぽっぽ 小栗 恵津子 (第二こぶし園より)
- 第二こぶし園 中松 美津子 (5月採用非常勤 ぽっぽより)

◇非常勤職員配属 (令和6年4月以降採用)

- こぶし園 新井 なつみ 生活支援員 (4月採用)
- 第二こぶし園 唐沢 梨恵 調理員 (6月採用)
- ユアサポートぽっぽ 米山 政則 生活支援員 (8月採用)
- 片桐 しほり 生活支援員 (4月採用)
- 塩澤 敏樹 生活支援員 (8月採用)
- グループホーム 藤本 節子 生活支援員 (6月採用)
- 篠田 羽乃 世話人兼生活支援員 (7月採用)
- 小林 典子 生活支援員 (7月採用)
- 今村 佐織 生活支援員 (8月採用)
- グー ス 中島 まき 看護師 (7月採用)

◇9月末嘱託職員を終了

- 吉村 良人、松澤 久子、大淵 美知子

飯田市美術博物館にてあーと展



9月16日～22日に飯田美術博物館で「書で話そう ぽっぽあーと展」がありました。

ぽっぽでは月に1回すみあそびの活動があります。日常のつぶやきや思い出、食べたい物や行きたいところなど、聞き取りの中から生まれた言葉や絵が「書」になります。今回は大・中・小合わせて30点の作品が展示され一週間という短い期間ではありましたが、たくさんの方々に来場していただき感謝感激です。来年のあーと展もぜひ足をお運びください。



表紙の説明

今年も柿作業、薪配達の最盛期がやってまいりました。

大変な作業ですが毎年楽しみにして下さっている多くのお客様に喜んでいただけるよう、みんなで協力して取り組んでいます。



何年ぶりかな～?! 『待ちに待った旅行』楽しかったで～す!!

こぶし園・第二こぶし園



メロン狩り

コロナ禍でしばらく中断されていた園旅行が再開されました。第一弾はメロン狩りに行って来ました。待ちに待った園旅行で利用者さん皆ニコニコ顔(^^)。天気も快晴とても暑い中、蒲郡オレンジパークに行き、美味しそうなメロンをよ～く吟味して、1人1個探ってきて箱に入れてもらいました。中には箱のフタができないくらいの大きな物を探ってきた人も…。試食に出してくれたメロンがとても美味しく、次は箱に入れてもらったメロンを食べるのが、楽しみになりました。そして、昼食は「名古屋名物」(味噌カツ・エビフライ・きしめん)をお腹いっぱい堪能し、岡崎城を散策したあと、お土産を買ってとても楽しめた一日でした。



ナガシマ スパランド コース

久しぶりの遊園地!!大型バスに乗りし、長野県外へ出かけてきました。ナガシマスパランドのゲートをくぐると巨大なジェットコースターが現れ、ドキドキとわくわくが最高潮に!!
乗り物の切符を買い、キッズタウンのメリーゴーランドやピーターラビットコースターに乗ったり、大きな観覧車に乗ったり、スリル&スピードのスチールドラゴンに挑戦する方も!!広いパーク内を歩きながらランチを食べ、家族や自分へのお土産も買い、暑さが厳しい中でしたが、久しぶりの園旅行を一日満喫しました。



トヨタ 水族館コース



久しぶりの園旅行にワクワク!バスの車内は朝からとても賑やかでした◎
トヨタ産業技術記念館ではトヨタグループの歴史や技術を見学し、名古屋港水族館ではブルーガやウミガメ…たくさん生き物を見学しました。お楽しみのお昼ご飯は、味噌カツ・手羽先等の名古屋名物をいただきました。ご飯はおかわり自由。お腹いっぱいになりました!
高層ビルや海の景色も楽しみ、お土産もしっかり買って大満足の日となりました♪



宴会コース



久しぶりの園旅行で皆さんとても楽しみにしていました(^^)
あいにくの天気でしたがゆっくりとお風呂に入ってリラックスした後は、豪華な料理を食べたりカラオケをしたりと楽しみました♪
料理は、色々な種類があり、どれも美味しかったです。食事の後は、カラオケもみんなノリノリで、楽しそうでした。最後に各々お土産を買いました。楽しい時間はあっという間でしたが楽しい思い出を作ることが出来ました(*^▽^*)



ぽっぽ バス旅行



10月11日に5年ぶりのバス旅行がありました。
リフトバスは、はるばる長野市から来た車イスも乗れる大型バスのアリーナで、運転は懐かしい竹内運転手さんでしたので、安心して1日をお願いできました。
そして今回の旅行のコースは諏訪・松本です。当日は天候にも大いに恵まれました。旅

行の目玉であった松本空港での飛行機のフライト見学は、欠便でかなわずと言ったハブニングもありましたが昼食の「おぎのやの釜めし」の美味しさで気持ちも戻りました。またバスの中ではクイズやカラオケで盛り上げられました。多くの皆様のご協力のおかげでバス旅行を終える事ができました。ありがとうございました。



法人研修会

講師：高水福祉会理事長 野口直樹氏



令和6年度第1回法人全体研修が8月25日に6年ぶりに開催されました。今回の研修では、「共生社会の実現と虐待防止～今私たちが考え、できること～」をテーマとして、高水福祉会 野口直樹理事長を講師に招いて講演していただきました。

講話の主な内容としては、『虐待防止』『共生社会の実現』についてでした。『虐待防止』では、支援の方法がわからずに成果も出ない、それがストレスになり感情や倫理感のコントロールが失われ虐待につながる。技術を身につけることにより、今起きていることを冷静に分析し、他の職員の支援についても指摘できるな

ど、風通しの良い職場になることで虐待が減るとのお話しでした。

『共生社会の実現』では、私たちのすべての支援が共生社会の実現につながってくることを意識する必要がある。その具体的な取り組みとして、意思決定支援や、権利擁護、EBP（根拠ある実践）など専門的な支援技術があることを学ばせていただきました。

今回の研修を通して、私自身心に来る言葉がたくさんあり、職員全員が日々支援技術の研鑽に努める必要があると感じられる研修でした。

研修委員長 原 恭介



職員の動き

ユアサポートぽっぽ 岡本敏幸 (生活支援員)



昨年の12月からご縁がありまして「ぽっぽ」でお世話になっています。支援、介護って何？ゼロからのスタートでした。支援や介護のポイントをアドバイスされ鍛えていただき「失敗は前進のはじまり」約4ヵ月間の介護職員初任者研修

取得に関しては、ぽっぽの皆さんに励まされ、無事修了し見習い支援員卒業となりました。これからもスタッフのアドバイスをよく聞き、利用者さんの心の声を聞ける思いやりのある支援に一步一步近づいていきたいと思っています。

法人本部 元島 真由美 (事務員)



昨年10月より本部にお世話になり、法人全般の事務を担っています。分からないこともあり四苦八苦の日々ですが、周りの方にフォローしていただきながら、お陰様で1年が過ぎました。職場はこぶし園の一角にあり、いつも明るく元気な利用者さん達の声が聞こえてきます。そんな中で利用者さんと職員のやりとりが、とてもいい雰囲気だなと感じています。

趣味は庭いじりと言いたいところですが、なかなかそんな時間も草取りで精いっぱいです。でも、毎年種がこぼれ自力で育てくれるコキアやジニア、ケイトウで、今我家の庭は賑わっています。

編集 後記

今年、初めて梅酒作りに挑戦しました。自分好みの梅酒になるように氷砂糖を控えめにしてみました。透明な液体から琥珀色に変わる様子をわくわくしながら眺めて待つこと3か月。いよいよ飲み頃の時期を迎え、さっそく飲んでみるとなかなかの仕上がり。また来年もお酒の種類を変えて作ってみようと思います。

(木下美貴)